2022年4月

大会参加選手・スタッフおよび保護者各位

パラIDジャパン・チャンピオンシップ卓球大会2022

参加に際する新型コロナウイルスへの対応ガイドライン

 一般社団法人日本知的障がい者卓球連盟

　 パラIDジャパン・チャンピオンシップ卓球大会2022実施及び参加に際して、新型コロナウイルスの感染を発生させないために、以下の事項の遵守をお願いいたします。

【選手・スタッフ】

１．大会参加の直前 2 週間の体温測定を実施し 37.5度未満で倦怠感、咳、咽頭痛などの

体調の報告を必ず行い、異常がないことが確認されたうえで参加してください。

２．発熱に限らず、風邪等の症状がみられる方は 大会への参加をお断りします。

37.5度以上の発熱があった方は、棄権のご連絡をお願い致します。

 但し、平熱が 37.5度前後の方は、予めスタッフに相談してください。

３．大会会場来場前と夕方に必ず検温し、37.5度以上の場合は来場を控えてください。

４．大会期間中に、体調に異変が生じた場合、風邪等の症状が伺えた時や体温が 37.5度以

上に上昇した場合は、速やかにスタッフに報告してください

障害特性による体温上昇の場合は、スタッフに相談し行動記録やその他の体調も確認

の上判断することとします。

５．食事、睡眠をしっかり取り、体調管理を徹底してください。

６．大会会場への入館の際には、都度必ず消毒液を利用してください。

７．食事前後およびトイレの後は必ず 20 秒以上の石鹸を使った手洗いと消毒液での仕上

げを実施してください。また、うがいもこまめにしてください。

８. 食事中はもちろんのこと、大会会場内での談笑は極力控えるようにしてください。

９. その他、不安や心配事があればスタッフに相談してください。

10. 共用のロッカールーム、シャワールームの利用を控えてください。

11. 大会会場来場後は極力外出を避け、大会終了・敗退まで体育館内にてお過ごしください。

12. 試合の合間の休憩中でも、できるだけ他の方との距離を２ｍ以上保ち、必ずマスク着用

し、談笑は控えてください。

13. 試合後の選手同士の握手は、当面の間は禁止とします。

14. 卓球台の表面で手汗を拭く行為やシューズの裏を手で拭く行為は控えてください。

15. 体育館内において、大きな声を出すことは極力控えてください。

16. コーチングスタッフも必ずマスクを着用（白以外）の上、指導をしてください。

17. ボールや台を触った手で顔（目、口、鼻）を触れないように努めてください。

18. ミーティングする必要のある場合はマスク着用の上、できるだけ距離をとり、少人数で

 　　実施し短時間で済ませるようにお願いします。

19. タオルは各自持参したものを使い共有は控えてください。

20. 体育館内では練習、試合、食事以外の時間はマスクを着用してください。また、体育館

来場時および帰宅時は必ずマスクを着用してください。

21. 飲み物は自身で管理し、回し飲みはしないでください。

22. 練習中の汗の飛散を防ぐため、ヘアバンドやリストバンドの着用を推奨します。

23. 大会参加に際しては事前に本ガイドラインを確認してください。また、利用時には必ず

持参し注意事項を確認してください。

24. 敗退等に伴い大会日程のすべてが終了した場合には、応援及び観戦の為に会場に残るこ

となく、速やかにご退館、ご帰宅いただきますようお願い致します。

25. 本ガイドラインの遵守並びに大会スタッフの指示に従っていただけない場合には已む

おえず失格となる場合がありますことご承知ください。

【保護者等】

26. 日本障がい者スポーツ協会より「障がい者アスリートのための感染症予防」が公表され

ていますので活動再開の際の感染予防に向けて、ご参考にしてください。

27. 選手の体調管理の徹底をお願いします。選手の体温、体重、体調の記入時には確認を

お願いします。特に基礎疾患による感染リスクがある方は事前にスタッフに相談してください。

28. 大会参加時に引率移動で同伴する方は、選手と同様に上記の記載事項の遵守をお願いし

ます。特に発熱に限らず、風邪等の症状がみられた場合は、引率移動の同伴を自粛す

るか他の方に変更し対応してください。

29. 大会会場来場時および帰宅時は必ずマスクを着用してください。

30. 大会引率に際する引率者の人数に関しては特段制限を設けてはおりませんが、常識の範

囲内でご調整いただきますようお願い致します（選手1名に対し5名以上の引率など

はお控えいただき、極力最少人数での来場をお願い致しま）。

31. 観客席も下ばきではご入場できません。必ず上履きをご用意ください。

32. 本ガイドラインの周知徹底に当り、選手に対して、より分かりやすく理解して頂くため、

本資料の漢字部分にふりがなをふることや重要な箇所にアンダーラインなどをして使

用させてください。

 以上